

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会 (第25期・第7回)

議事録

- 日時：令和5年3月24日（金）16:00～17:35
- 会場：Zoom 遠隔会議（ホスト場所は慶應義塾大学理工学部情報工学科藤代研究室）
- 出席（10名、五十音順、敬称略）：跡見 順子，伊藤 貴之，上野 佳奈子，行場 次朗，越塚 誠一，小山田 耕二，下條 真司，田中 覚，萩原 一郎，藤代 一成
オブザーバ：影山 祥子（事務局）

議事内容

(1) 前回（第25期・第6回）議事録 [資料25-7-01]

- 確認・承認された。

(2) 25期見解案 [資料25-7-02-1/2/3/4/5]

- 藤代，田中，伊藤各委員から上記資料を用いて，当分科会の見解案について説明があり，今期中の発出に向けた提出を承認した。
- 提出前の内容の改善点について議論された内容は以下のとおり：
 - 日本学術会議から既に公刊されている資料だけでなく，他の委員会や分科会で継続審議されている事項の調査をさらに進め，提出後の査読対応に備えるべき（萩原委員長）
 - 文化芸術学のビジュアル分析が，第一部で議論されているデジタル時代に即した人間・文化・社会研究の包括的な基盤構築 DTHi と関連性を有する点に適切な資料参照とともに言及してほしい（行場委員）
 - 日本学術会議で包括的に議論されているカーボンニュートラルとの接点に言及すべき（上野委員）
- 見解案の取り纏めと連動して，来期に向けた施策として出された意見は以下のとおり：
 - 第一部や第二部でも可視化への関心は高く，場合によっては課題別委員会の立ち上げも考えるべき（萩原委員長）
 - 第三部のなかでは，総合工学委員会と情報学委員会の両方を親委員会とする分科会を再組織化する意義あり（小山田委員）
 - 科学技術の理解を深める可視化の横串的な役割の観点から，未来の学術振興構想との連携を模索してほしい（下條委員）
 - 生命分野（身体・細胞学）での利活用を推進していきたい（跡見委員）

(3) 第8回公開シンポジウム [資料25-7-03]

- 田中委員から上記資料を用いて実施内容案の説明があり，開催時期の調整，プログラムの洗練を経たうえで開催することが承認された。
- 次回の当分科会は，シンポジウム開催日に開催することになった。

資料リスト

- 資料25-7-00 : 開催通知
- 資料25-7-01 : 議事録25-6
- 資料25-7-02-1 : 申出書&要旨
- 資料25-7-02-2 : 【助言】 2023-032(071) 見解
- 資料25-7-02-3 : 【調査結果】 2023-032(071) 見解
- 資料25-7-02-4 : 可視化分科会見解案
- 資料25-7-02-5 : 助言&調査結果対応案
- 資料25-7-03 : 公開シンポジウム(8)企画案